



NEXT21/U-CoRo ウィンドウ・エキジビション 06 関連イベント

「クロスロード」と 減災Cafe in 上町台地

減災×地域×コミュニケーションを開催

昨年夏に上町台地の5カ所で減災ゲーム「クロスロード」を実施。今回のイベントには、その体験者を中心に30数名が参加。



ゲームを通して減災を考える
試みは、地域・コミュニケーションにとって大きな可能性を秘めている!?

矢守先生からの質問に、
参加者もゲームで使うYes・
Noのカードで意思表示!

NEXT21/U-CoRoのウィンドウ・エキジビション06「減災ゲームで気づく上町台地の暮らしいろいろ」に合わせ、2008年12月8日(月)の夜に「減災Cafe」を開催。減災ゲーム「クロスロード」を開発し、その活用を通じた減災に力を注ぐ京都大学の矢守克也准教授を迎え、お話をうかがい、共に語り合いました。



矢守克也さんは、減災ゲーム「クロスロード」の開発に込めたご自身の思いを語られ、また各地で活用されている実例を紹介し、上町台地での取り組みへの期待などを話されました。



菅磨志保さんは、共催者の立場からコメント。上町台地での「クロスロード」の印象とそこから始まる減災コミュニケーションデザインの可能性を語りました。



大阪ガス エネルギー・文化研究所の弘本由香里が進行役。

減災Cafe in 上町台地

ゲストのお話：矢守克也さん(京都大学防災研究所巨大災害研究センター准教授) / 共催者コメント：菅磨志保さん(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任講師) / 参加者との対話 ほか

- 日時：2008年12月8日(月) 19:00~22:00頃(交流会含む)
- 会場：NEXT21ホール+会議室(大阪市天王寺区清水台町6-16)
- 主催：大阪ガス エネルギー・文化研究所(CEL)
- 共催：大阪大学コミュニケーションデザイン・センター



NEXT21/U-CoRo
ウィンドウ・エキジビション
06「減災ゲームで気づく上町台地の暮らしいろいろ」。





上町台地の風土特性と災害リスクについては、U-CoRoプロジェクト・ワーキング・メンバーの早川厚志が解説。



上町台地の各所で実施した「クロスロード」の経過ドキュメントをU-CoRoで展示！



昨夏に上町台地での「クロスロード」を体験した方や減災ゲームに関心を持つ参加者も、順に意見や感想を述べる機会をもちました。

ゲームを通して、地域の問題点や安心のための資源など、その特性が見えてくる！

減災と地域コミュニケーションのこれからについて語り合いました。



会場からの発言を受け、矢野さん、菅さんが専門家の立場から応え、議論が深まりました。



災害時のシミュレーションに加え、地域減災やまちづくりにつながるツールとしてもゲームが活用できそう！

災害からいのちと暮らしを守るため～

減災キャラバンが2月1日から上町台地でスタート

■ 減災キャラバン「いのちをまもる智慧」on 上町台地

減災にまつわるエピソードを全国で取材してまとめたストーリーブック「いのちをまもる智慧 減災に挑む30の風景」、その巡回パネル展示と併催イベントが、上町台地の数カ所ですべて1カ月間にわたって展開されます。

● 展示開催期間・場所

應典院 = 2月1日(日)～7日(土)
 朝 = 2月8日(日)～14日(土)
 高津宮 = 2月15日(日)～21日(土)
 練 = 2月22日(日)～28日(土)

主催：(特活)レスキューストックヤード(問合せ:052-783-7727)
 共催：大阪大学コミュニケーションデザイン・センター 他
 協力：CEL/U-CoRoプロジェクト・ワーキング 他

● 併催イベント

リレー・トーク「その日に備える、“その日”と向き合う」(全4回、各展示会場にて19:00～20:30)

第1回「備前の覚悟～いつか出会う被災死への向き合い方」2月6日(金) 應典院

第2回「対話の覚悟～“その日”をともにする他者への向き合い方」2月13日(金) 朝

第3回「避難所の覚悟～避難してくる被災者への向き合い方」2月20日(金) 高津宮

第4回「路地の覚悟～長屋のまちでの“その日”への備え方」2月27日(金) 練

まち歩きトーク「その日」の前に…上町台地を歩き、記憶する」2月15日(日)14:00「練」集合・出発

クロージング・イベント「減災カフェ on 上町台地～“その日”は埋問見えましたか?」

3月13日(金)19:00～21:00 サロンdeアリス(練2階)



災害に備えた保存食料や飲料にも、いろいろな種類があつて、どれもおいしそう。



最後の交流会では、各種の保存食料などを試食しながら、減災Cafeの余韻を楽しみました。



下寺町で、空堀で、地域の活動団体が “いのち”や“歴史”や“日常”から、 防災・減災を考えるイベントを続々開催。

前号で紹介した上町台地境界
のイベントの一部をレポート。
U-CoRoと協力関係を持つ団体
が主催しています。

11/29

6つのお寺をまわりながらの
ツアーイベント。内容も盛りだくさん
で、若手僧侶のみなさんの
熱意が伝わって来ました。

防災をテーマに、江戸時代から続く下寺町
を歩きました。そこに残されている古の
人々の智慧と実践のあとを訪ねるとともに、
都市の寺院の公共的な役割を再認識し、
上町台地にある安全のための資源の特性
と地域に開かれた活用のあり方などにつ
いて、改めて考える機会となりました。



源聖寺では、全員
で避難所生活体験
するワークショップ
に参加。

まちあるきイベント

防災てらまちウォーク

ゲスト：田中保三(まち・コミュニケーション顧問)、木下俊文(天王寺消防地域担
当司令)、服部隆志(アユス関西事務局長)、白鳥孝太(シャンティ国際ボランティア
会)、上田假奈代(詩人)、弘本由香里(大阪ガスCEL客員研究員)、下寺町の僧侶たち
11月29日 10:00~17:00 / 会場：天王寺区下寺町界隈 /
主催：三帰会(下寺町の若手僧侶の会) / 共催：仏教 NGO ネットワーク /
運営協力：(社)シャンティ国際ボランティア協会



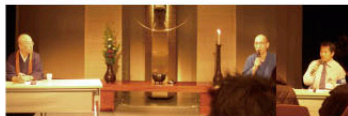
スタートの良運院では、
上田假奈代さんの詩の
奉納に続き、木下俊文
さんが防災のお話。



寺に残されている井戸
の水は、災害時には命
をつなぐ水に。



災害時に発生した火災を消
すという想定で、幸念寺で
はバケツリレーなどを体験。



最後の会場・應典院では、詩の奉納の後に、服部隆志さん、
白鳥孝太さん、應典院の秋田光彦さんが、「寺はいのちの
広場となりえるか」をテーマに語り合いました。

金台寺ではミニ法話の後、田中保三
さんとU-CoRoプロジェクト・ワー
キング・メンバーの弘本が対談。



西照寺で詩の奉納が行われた後、昼食に
「災害用非常食アルファ化米」を試食。



こちらは減災の
勉強会! 毎回、熱心
に続けられています。

1/25 コモンズフェスタ 2008/2009

減災の身体性~見慣れたものに、
未知なるものを再発見する
期間：1月9日(金)~25日(日)
会場：應典院 / 主催：應典院寺町倶楽部



写真は「減災のプロコラージュ」。この
ほか、減災をテーマとした展示や演劇
などのアートイベントを連日展開。

防災てらまちトーク

阪神淡路大震災 14年 追悼のつどい

ゲスト：瀧美公秀氏(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター 准教授)
1月15日(木) 18:30~/ 会場：大蓮寺本堂 / 主催：三帰会

三帰会によるこの一年の防災の取り組みのまとめとして、冒頭に11/29(防
災てらまちウォーク)の報告が行われました。瀧美先生のお話は、阪神・淡
路大震災から14年を振り返って、



15年目を迎えるにあたって、改めて被災者中心の救援・復旧・復興・防災
とは何か、14年間の時の重みとともに、減災への思いが語られました。
瀧美先生のお話と質疑の後は、震災の犠牲者を供養する法要も営まれ、震
災の起きた日の直前に、被災者に思いを馳せる時を共有する夕べとなりました。

1/15

ロジモク減災勉強会 M2

秀吉の上町台地改造について

~大阪府庁地区の発掘調査から~

講師：鋤柄俊夫氏(同志社大学文化情報学部文化情報学准教授)
12月12日 19:00~/ 会場：サロンdeありす(中央区谷町6)
主催：からほり倶楽部 / 共催：ロジモク研究会、CEL/U-CoRo / 協力：北川央氏



第2回のロジモク減災勉強会では、同志社大学の鋤柄俊夫
准教授(写真右端)を招いて「上町台地の土地改変史」をう
かがいました。慶長大地震では豊臣大坂城も被害を受けた
記録が残っていますが、発掘調査から台地上での崩落跡も
見つまっているそうです。また、深さ8mを超える谷が埋まっ
ていることも分かり、他にも小さな谷が上町台地のあちこち
で埋まっている可能性があるとのこと。丈夫なはずの上町台
地で、私たちの足元を今一度見つめ直す機会になりました。